

リハビリで、もう一度話す楽しさ、
食事を楽しむ喜びを。

話す  聴く  食べる  こと

当院の言語聴覚士が しっかりサポートします



14名の言語聴覚士が手厚くサポート。より良い明日へ。

当院では言語聴覚士が14名在籍しており、
えんげ しつご こうおん
嚥下障害、失語症、構音障害などに対する
専門的なリハビリを提供しています。



01

安心の検査体制



医師含む多職種が同席の上、検査を実施。専門的な評価に基づいてリハビリを行います。

02

手厚いリハビリ



リハビリスタッフの早番・遅番体制を導入。言語聴覚士が専門的に評価した内容を基に多職種で支援します。

03

食のイベント実施



スタッフと患者様で準備を行い、季節ごとに「食べる」を楽しむイベントを開催。



IMSグループ医療法人社団明生会

イムス札幌内科リハビリテーション病院

〒006-0049 札幌市手稲区手稲金山124番地



公式ホームページ

おいしく食べる、笑顔で生きる。 あなたの食べる力をサポートします。

口から食べられるように 食べることを楽しめるように

「食べること」はQOL（生活の質）に大きくかかわります。当院入院時には口から食べることができなかった患者様も、リハビリの結果約50%以上の方が口から食べられるようになり退院されています。

当院では季節ごとに「食のイベント」を開催し、「食べる」ことへの意欲や喜びを取り戻すサポートも行っています。

お一人お一人に合わせた「口から食べること」のあり方を患者様・ご家族様と一緒に探していきます。



嚥下障害 に対するリハビリ

飲み込む力が低下し、よくむせたり、飲み込む時に食べ物や飲み物が気道に入ってしまう可能性が高い方には、専門的な評価を行い、飲み込みに必要な筋力のトレーニングや飲み込み反射を促す練習などを行います。



失語症 に対するリハビリ

脳の病気により、言葉が出にくくなった方には、聞く・話す・書く・読む力を鍛える練習をします。また、ご家族様とご本人とのコミュニケーションの助言や、方法の工夫を一緒に考えます。



構音障害 に対するリハビリ

口や舌が動きにくく、話しにくい・声が出にくい方には、呼吸、発声しやすいような筋肉のストレッチ・体操や会話を想定した発話練習などをおこないます。



退院後の支援

訪問リハビリ

医師の指示に基づき、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が利用者様の居宅を訪問します。心身機能の維持や回復、日常生活の自立を助けるために、生活場面に合わせたリハビリテーションを実施します。

通所リハビリ

利用者様が当院へ通い、理学療法士・作業療法士・言語療法士が個別介入を行います。適切な自主トレーニングの提供や運動指導を行い、身体機能の維持・予防を図ります。当院では失語症に対するデイケアも行っています。

